

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

第3回は、平成28年8月24日（水）清瀬第十小学校にて開催しました。地域住民、十小・五中保護者、民生児童委員、学校職員、福祉関係者、地域活動ボランティア従事者、障害のある方のご家族など22名の参加をいただきました。大学生から91歳まで幅広い年代の方が十小地域について話し合いました。その概要をお知らせします。

知っていることを出し合い、話し合おう

第2回までに出された地域の課題や協力してできる取り組みなどを振り返り、出された課題について地域に実際にある資源を情報交換したり、こんな力があるといいなど地域を良くするための話し合いをしました。

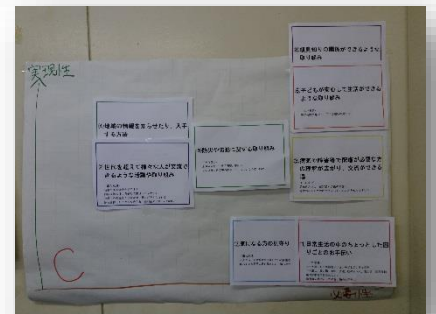
「困っている人に知り合えていない。やっぱり近所づきあいが大事では」「ニーズ（困りごと）を知るためにどうするのか」「旭が丘団地で行っているような助け合いができるとうい」など様々な意見が出されました。



必要性和実現性について考えました

前半で出された意見を基に、グループごとに必要性和実現性の軸でグラフ化してみました。

- 気になる人の見守りについて必要性和高いけれど、個人情報の壁があり実現性は低い。
- 登下校時の見守りは少し時間があればできる。実現性は高い。
- 十小子どもの地区班を利用して、同じ地域の高齢者宅のポストにおしらせを届けるのであれば実現可能なのではないかな。
- 「ふれんどサービス」という有償での家事のお手伝いサービスがある。こういう取り組みを広げるのであれば実現性も高いのではないかな。
- 大人から子どもにあいさつをする。実現しやすく、お互い嬉しい気持ちになる。
- 子どもが安心して生活できるよう、親が取り組んでいるものを充実させることは実現性が高い。
- 障害の理解は大事。地域に住んでいる専門家の力を借りることで、実現性は高くなる。



次回は、まず取り組んでみるテーマを絞り込んでいきます。10月からはその取り組みをどのように実現していくか掘り下げて話し合っていく予定です。ここに集まった人たちから地域に広げることが、実現に近づく第一歩なのではないでしょうか。次回以降も一緒に考えていきましょう。



地域のイベント情報

- 9/10（土）13時30分 地域清掃（青少協、五中生徒会）
- 9/13（火）19時 認知症サポーター養成講座（アミュ6階）
- 9/16（金）14時 相続と遺言のきほんのき（アミュ6階）
- 9/22（木）障害者福祉センターまつり

知っていますか？「ヘルプカード」

例えば知的障害があると、困った時に呼んでほしい人の名前や連絡先をうまく言えません。カードをみたら支援を必要としていると気づいて、支援をお願いします。



サイクル
話し合いの

地域の課題や現状について話し合う

参加者同士の情報交換や地域を知る

課題解決に向けた具体的取組み

活動の継続

世話会への発足

**次回開催は9月29日（木）13：15～ 清瀬第十小学校2階けやきにて
どなたでも参加できます。ぜひおいでください！**